

術中胆道造影

## IOCキット

医療機器認証番号：304ALBZX00004000 管理医療機器 胆管造影用カテーテル



## 適応

内視鏡下術中胆道造影時の造影剤注入

## 特長

- イントロデューサ針、カテーテル、付属品（鈍針、止栓、インサータ）のセットです。カテーテルを胆嚢管へ誘導するイントロデューサ針が含まれているため、経皮的に直接穿刺ができ、トロカールを経由する必要がありません。
- イントロデューサ針の先端にはRが付いているため、カテーテル先端を誘導し易くなっています。
- カテーテルはX線不透過で、先端はオープンエンド（OE）、また先端から10mm間隔で3つメモリが付いています。太さは3Frで、細い胆嚢管にも挿入可能です。

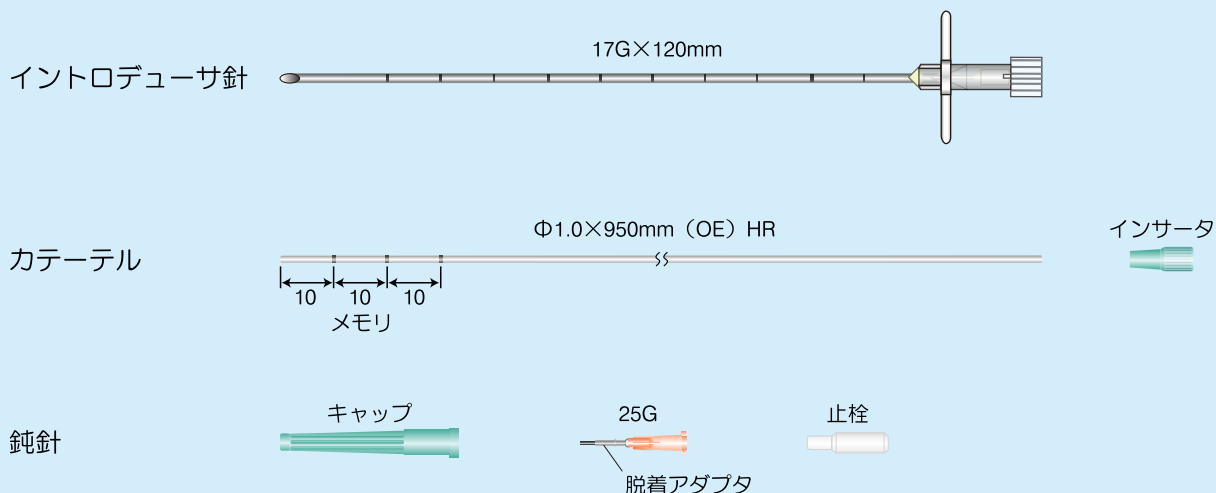
※IOC・・・術中胆道造影（Intra-operative cholangiography）

blacko®

心のかよう医療器ハッコー

本製品は、一回限りで再度のご使用は行わないでください。  
製品の仕様・外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

## <セット内容>



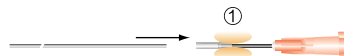
### ■ 脱着アダプタの使用方法

<鈍針とカテーテルを接続する場合>

1. 脱着アダプタ（以下、アダプタ）をスライドさせ、アダプタの突起部と鈍針の先端部を一致させます。



2. アダプタの後端部（図の①の位置）を指で押さえ、カテーテルをアダプタに挿入します。



3. カテーテルとアダプタの両方を指で押さえ（図の②の位置）鈍針を水平にスライドさせます。

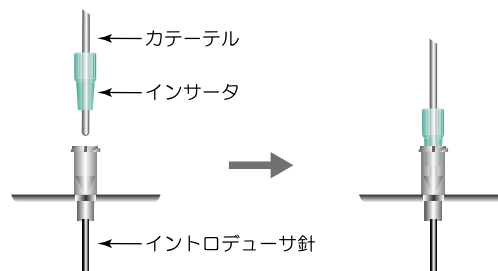


4. アダプタを針基へスライドさせてください。以上で接続は完了です。



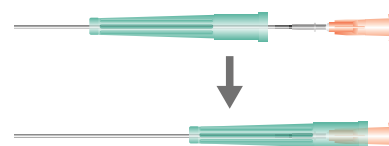
### ■ インサータの使用方法

カテーテルをインサータに挿入し、イントロデューサ針の針基に接続し、カテーテルを挿入してください。カテーテル挿入後は、インサータを取り外してください。



### ■ 鈍針キャップの利用方法

鈍針キャップをカテーテル保護シースとしてご利用いただけます。（カテーテルと鈍針を接続する前に、カテーテルを鈍針キャップに通してください。）



<鈍針からカテーテルを取り外す場合>

アダプタを保持し、鈍針を矢印の方向へ引き抜いてください。



カテーテル側にアダプタが残りますので、再接続する必要がある場合には、アダプタを鈍針へ再挿入してください。後は、同様な方法で再接続が可能です。

### ■ カテーテルを胆嚢管に誘導する際は

イントロデューサ針の刃先やアゴで、カテーテルに過剰な負荷が掛かるような操作は行わないでください。（カテーテルの損傷や切断を防ぐため）

## 仕様

製品コード / JANコード	規格	カテーテル	鈍針
29112800 / 4526737292946	17G×120mm	Φ1.0×950mm (OE) HR	25G

## 包装形態

1箱10セット入、1セット毎ピールオープン包装 EOG滅菌済

本製品をご使用になる前に、製品の注意事項等情報（電子添文等）の内容を必ずご確認ください。